

【 簡単腰壁セット 施工要領 】



天然無垢製品のため、大気中や床下からの温度の影響により、本来持っている湿気の吸排作用によって伸縮する性質を持っています。保管、施工およびメンテナンスにつきましては、下記注意事項をよくお読みください。なお、これらを守っていただけない場合、製品の補修・交換などには応じかねます。

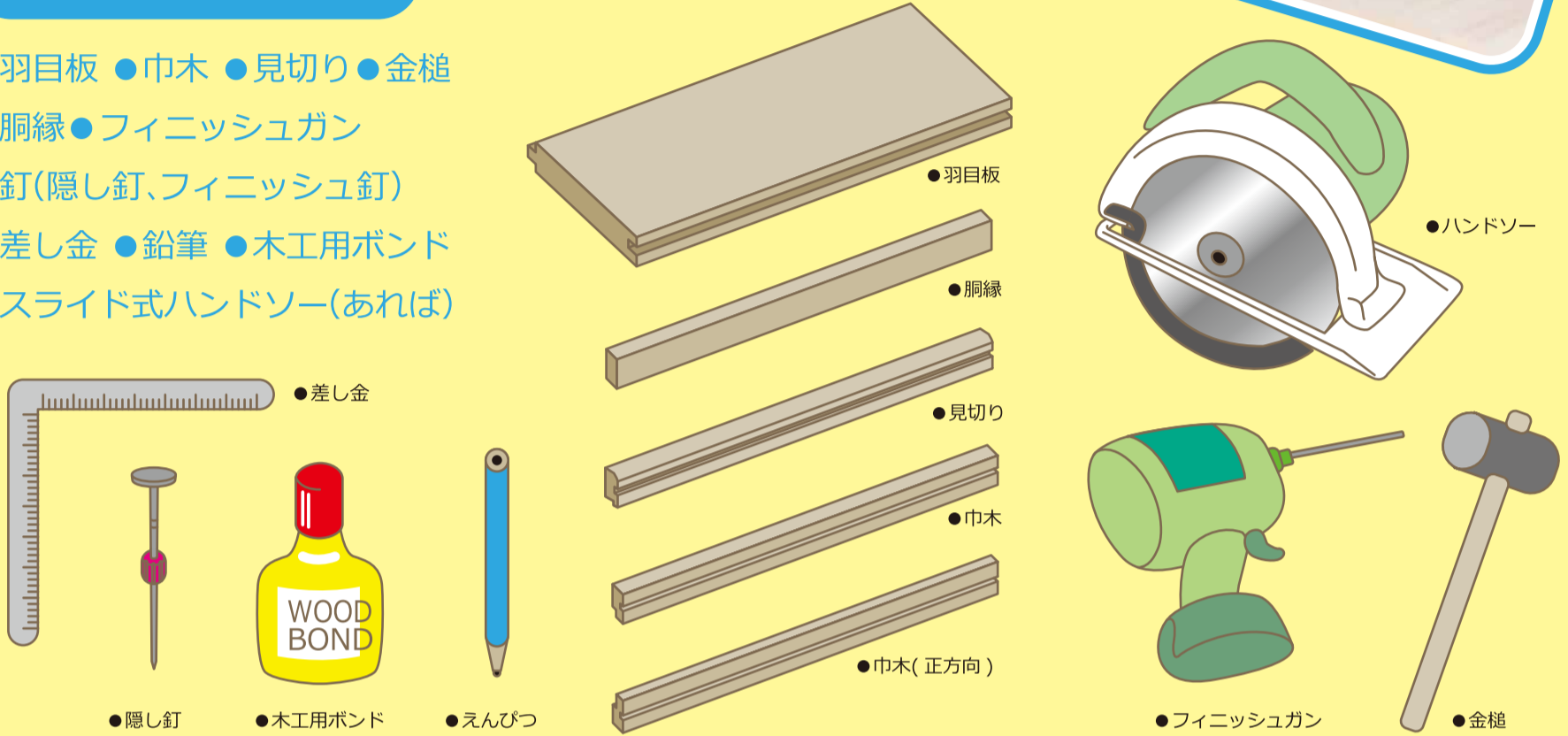
★免責事項…加工後の返品や交換には応じかねます。

★注意事項…針葉樹は、開梱後に長時間放置されますと、施工現場の環境によっては、反り、曲がり、表面割れ等が発生するおそれがありますので、その点ご注意ください。



● 用意するもの ●

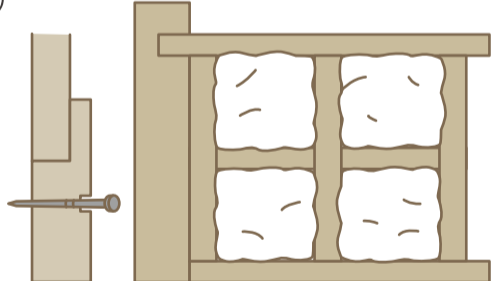
- 羽目板 ●巾木 ●見切り ●金槌
- 胴縁 ●フィニッシュガン
- 釘(隠し釘、フィニッシュ釘)
- 差し金 ●鉛筆 ●木工用ボンド
- スライド式ハンドソー(あれば)



1 下地と巾木の取り付け

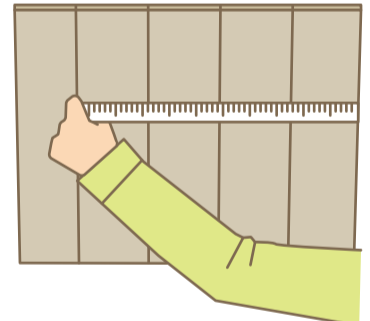
壁下地と巾木の間には羽目板を挟むことができるよう、巾木用の下地胴縁をビスで取りつけます。(既に巾木の下地があったり、ボードに貼る場合は、上記の作業は必要ありません)

巾木にボンドを塗って巾木下地の上に貼りつけ、隠し釘で固定します。この溝の部分に隠し釘を打ってください。



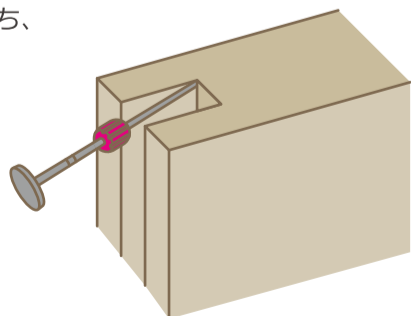
2 壁の幅の採寸と割り込み

羽目板を張る壁の幅を測り、必要な羽目板の枚数を割り出します。セット1つにつき100mm幅の羽目板が18枚(1800mm分)入っているため、仮に幅1750mmの壁に張る場合、必要な枚数は17.5枚になります。その場合、18枚のうち端になる2枚から計50mmほどの幅を切り落として、全体の幅を調整した上でご使用いただくこととなります。



3 羽目板の施工

羽目板の裏に木工用ボンドを塗り、メスザネにオスザネをはめ込むようにして張りつけていきます。その後、メスザネの溝に隠し釘を打ち、羽目板を固定します。羽目板同士をはめ合わせる時は、傷がつかないように当て木をした上で金槌で叩き、しっかりとはめ込んでください。



4 見切りの設置・完了

壁の幅に合わせて見切りをカットし、羽目板にかぶせるようにして設置します。巾木と同じように溝に隠し釘を打って固定すれば、腰壁の出来上がりです。

